

うちわの仕上げ

先日は当施設にて紙漉き体験を実施して頂き、誠にありがとうございました。スタッフ一同心より御礼申し上げます。

当日の体験を通して、和紙の魅力や現在の紙との違いについて少しでも心に残るものがあれば、感じるものがあれば幸いです。

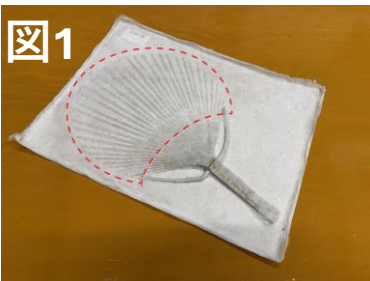
またいつか、皆様の又のご来訪を心よりお待ちしております。

本日は皆様にお作り頂いた作品の乾燥が終わりましたのでお送りいたします。

尚、最終的な仕上げ(補強)については下記を参考に生徒様自身で仕上げて頂きます。

(台紙のまま飾って頂いても結構です)

工房での思い出と共に、末永くお使い頂ければと思います。



①切り抜き

四角い枠の形のままお送りいたしますので、うちわの周りにのりしろとして約5mmくらい残しカッターやハサミで切り抜きます。

(図1)

※中骨の部分を残しても問題ありません

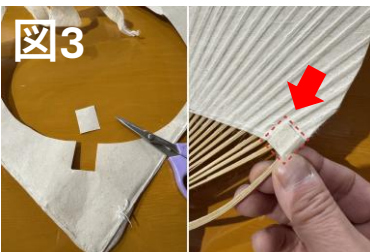


②のり付け

のりしろの部分に数カ所切込みを入れ、裏側に軽く折り目を付け、のりを付けます。

のりを付けたら裏側へ折りこみ貼り付けます。

(図2)

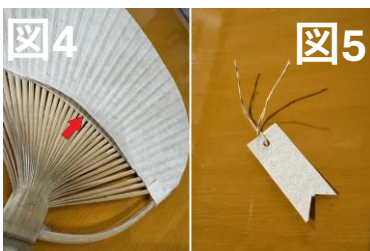


③補強

あまった紙を四角やハートマークなど好きな形にカットし、みみ(図3)の部分を含めるように貼る事で補強が出来ます。

④その他、

・うちわの柄の部分や骨の部分に付いている紙の繊維は濡れたタオル等で軽く拭く事でキレイになります。



・使用しているとうちわの中骨(図4)の部分が浮いてくる事があります。のりをヘラ等で塗り貼り付けて下さい。

・余った部分に絵を書き、しおりなどを作る事も出来ます。(図5)